

## ドリコム (証券コード:3793) Wizardry が収益牽引、業績底入れへ。

### GIR View

#### ハイライト

ドリコムは 2026 年 1 月 29 日引け後に「2026 年 3 月期 第 3 四半期決算」を発表した。四半期ベースで過去最高の売上高を計上し、第 3 四半期累計で営業利益・経常利益の黒字化を果たした。この結果、通期業績予想に示される大幅な営業・経常増益が射程に入った。ただし未定であった当期の配当は無配予想とされた。

業績の安定化の背景には、新規リリースタイトルのうち想定を下回ったタイトルに関する財務上の対応を進めたこと、『Wizardry Variants Daphne』が 1 周年を迎え業績の主軸としての立ち位置を固めたこと、既存の重要タイトルの収益も安定推移していること、新作立ち上げコストおよび不正課金対応が一服したこと、広告宣伝費の適正な運用体制が構築されたことがあげられる。

また、出版・アニメ事業の展開も着実である。刊行点数が着実に推移していることに加え、小説『汝、暗君を愛せよ』が「このライトノベルがすごい! 2026」(宝島社)にて【新作単行本・ノベルズ部門】の第 1 位を獲得している。2026 年 1 月からはアニメ『エリスの聖杯』が全国放送されている。

当面の注目点は、『Wizardry Variants Daphne』が言語追加(12 月に韓国語を追加)およびコラボイベントによって盤石に推移すること、これに付随して「Wizardry」ブランドを中心とした IP 戦略が収益基盤の盤石化につながることで、既存運用タイトルの収益安定化が進むこと、コスト最適化が続くこと、出版・アニメ事業の IP 展開が小説・コミック・アニメへマルチ展開し収益の底上げにつながることである。

こうした展開の先には「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への転換がある。次回決算では新たな中期成長イメージが財務目標とともに示されることを期待したい。

### KEY STATISTICS



#### 主要株価指数

直近株価(2026/1/29)	¥420.00
52 週高値・安値	¥1,064.00/¥392.00
発行済株数(除く自己株式)	28,929,817 株
時価総額	12,150 百万円
PER(会社予想)	- 倍
PBR	4.0 倍
PSR(会社予想)	0.7 倍
配当(配当利回り)	¥0.00(0.00%)

#### Sector

セクター	情報通信
------	------

#### 財務指標(2026/03 期予想)

売上	17,500 百万円
売上高営業利益率(%)	2.9%
売上高 EBITDA 比率(%)	9.1%

#### Management

President	内藤 裕紀
URL	<a href="https://drecom.co.jp/">https://drecom.co.jp/</a>



## 2026 年 3 月期 第 3 四半期概要：『Wizardry Variants Daphne』1 周年を迎え好収益 回帰

ドリコムは 2026 年 1 月 29 日引け後に「2026 年 3 月期 第 3 四半期決算」を発表した。四半期ベースで過去最高の売上高を計上し、第 3 四半期累計で営業利益・経常利益も黒字化を果たした。

10-12 月期実績は、売上高 5,062 百万円（前年同期 4,182 百万円）、営業利益 671 百万円（同 288 百万円）、EBITDA 894 百万円（同 434 百万円）、経常利益 657 百万円（同 275 百万円）、純利益 621 百万円（同 198 百万円）となった。

概ね会社想定通りだった模様だ。自社配信タイトルで主力の『Wizardry Variants Daphne』は 10 月のリリース 1 周年イベントを順調にこなして成長を続けた（四半期売上高推移：前年 3Q 21.6 億円→前年 4Q 24.8 億円→1Q 23.0 億円→2Q 20.5 億円→3Q 29.7 億円）。新規リリースタイトルのうち想定を下回ったタイトルに関する財務上の対応が終わり、他社配信タイトルの運用施策が順調に推移している。新作立ち上げコストおよび不正課金対応が一服したこと、広告宣伝費の適正な運用体制が構築されたことも寄与している。コンテンツ事業において新作ノベル『汝、暗君を愛せよ』が「このライトノベルがすごい！2026」部門 1 位受賞し、重要なマイルストーンを達成している。

## 2026 年 3 月期 通期業績予想は据え置き

2026 年 3 月期連結業績予想は据え置かれている（売上高 175 億円、営業利益 5 億円、EBITDA 16 億円、経常利益 4 億円、親会社株主に帰属する当期純損失 13 億円）。また、未定であった配当は無配となった。

第 3 四半期までの推移を踏まえると、この通期予想は射程圏内にあると言えるだろう。主力である『Wizardry Variants Daphne』においては言語追加（2025 年 12 月に韓国語を追加）およびコラボイベントが予定されているが、これが想定通りに好調に推移することが鍵になりそうだ。

なお、ゲームについては今期中に本開発開始の予定はない。リソースは『Wizardry Variants Daphne』の追加仕様に向けるとのことで、合理的である。

## 今後のポイント：通期決算で「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」に向けた新しい見通しがどのように示されるか？

同社の今後の戦略はスマホゲーム制作偏重から「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への転換を進めることにある。これによって従来手法のスマホゲーム開発リスクを縮小し、「Wizardry」ブランドを中心とした IP 戦略によって収益基盤を強化しつつ、出版・アニメなどで自社 IP を多面的に育成し是々非々で新作ゲームへの展開を行う事業体制に移行することになるであろう。従来よりもリスクを抑制しながら、安定的に成長を目指すことになり、投資家のリスクリターンの認識も良化することが予想される。

こうした文脈を踏まえて、当面の注目点を整理すると以下の諸点になる。

### 「Wizardry」ブランドを中心とした IP 戦略が収益基盤の盤石化につながる

- 休眠ファンの掘り起こし、新規ファンの獲得、これらファンを「Wizardry」関連の多くの IP へ誘導すること
- 海外展開（『Wizardry Variants Daphne』）、コミック化（『Wizardry Variants Daphne』）、アニメ化（『ブレイド&バスタード』）などが目論見通りに収益の盤石化につながる

### 既存運用タイトルの収益安定化が進む

- 運用コストの最適化、アプリ外課金の導入による収益改善

### コンテンツ事業の黒字化の道筋が見える

- 出版（ノベル・コミック・webtoon）の順調な拡充、特にコミックの拡充
- アニメ化の進捗と出版・MD（マーチャндаイジング）との相乗効果の発現
  - 『エリスの聖杯』は 2026 年 1 月に放映開始
  - 今後アニメ化が決まっている『ブレイド&バスタード』、『99 回断罪されたループ令嬢』の放送決定

こうした展開の先には、スマホゲーム制作偏重から脱却し、「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への本格的な転換がある。これまで見た通り、すでにその布石は揃いつつあると言える。

通期決算発表の際、今後の新規ゲーム開発の方向性も含めた新たな中期成長戦略と財務目標が示されることを期待したい。

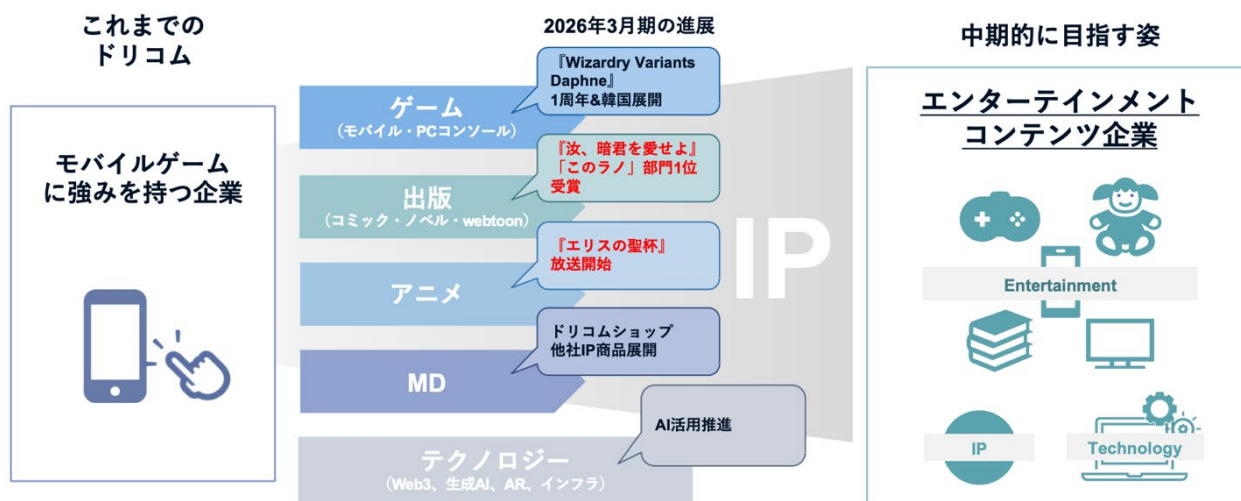
## 参考図表（同社決算説明資料より抜粋）

3. 中期的に目指す姿

### 中期的に目指す姿と進捗



「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への転換が進展

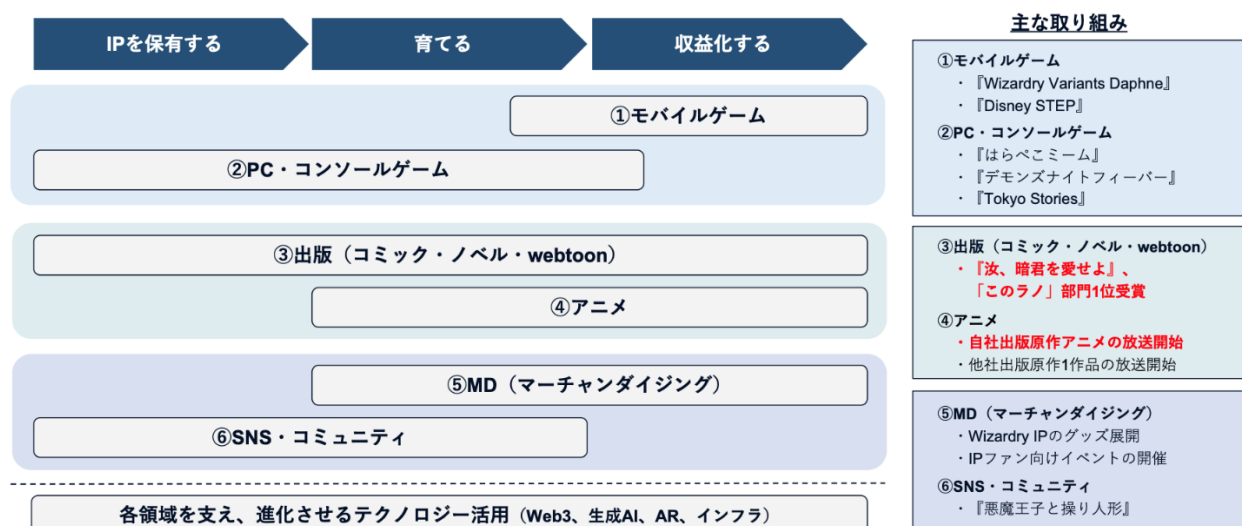


3. 中期的に目指す姿

### IPを軸とした各事業領域の目的と主な取り組み



IPの保有、育成、収益化を目的とした展開を、当社内の各事業領域が連携し、素早く実現

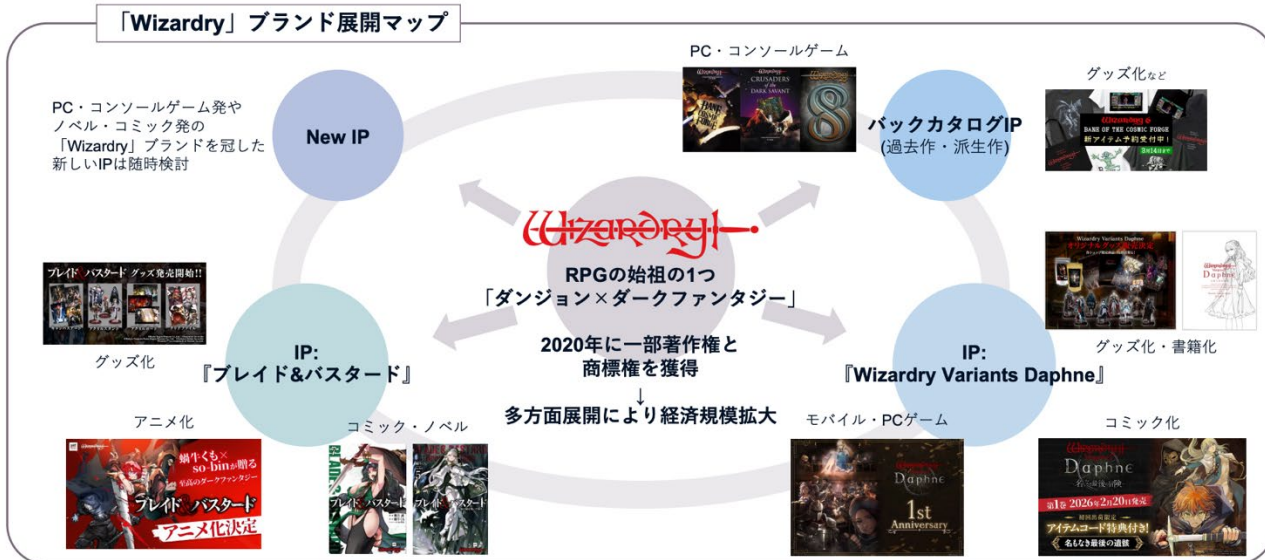


## 3. 中期的に目指す姿

## 事例：「Wizardry」ブランドを中心としたIP戦略



人気作の一部権利を獲得した上で、様々な展開により休眠ファン掘り起こしと新規ファン獲得、経済規模拡大

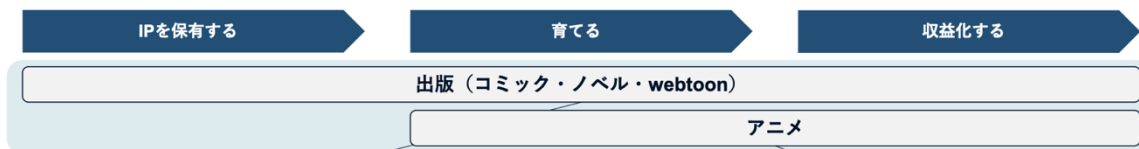


## 3. 中期的に目指す姿

## 事例：出版・アニメ事業領域における進捗



出版領域では人気シリーズの創出が着実に進展。アニメまで一気通貫で展開する体制を構築



試行を積み重ね、IP創出・育成を目指す

シリーズ作品数  
(25年12月時点)

コミック / webtoon :  
19シリーズ / 5シリーズ

ノベル :  
50シリーズ



- ・シリーズ累計80万部突破『婚約者が浮気相手と駆け落ち』
- ・シリーズ累計60万部突破『ブレイド & バスタード』
- ・シリーズ累計40万部突破『99回断罪されたループ令嬢』
- ・シリーズ累計30万部突破『ド田舎の迫害令嬢』
- ・シリーズ累計15万部突破『隠れ才女は全然めがない』



アニメビジネス推進によるIP認知拡大及び収益の確保

アニメ :

自社原作 3作品 / 他社原作 1作品



- ・ 自社原作 : 3作品のアニメ化が進行



- ・ 他社原作 : 『片田舎のおっさん、剣聖になる』 (原作:SOEX/ノベル)

※ゲーム化・コラボライセンス窓口出資で製作委員会参画



## 3. 中期的に目指す姿

## 事例：出版・アニメ事業領域における進捗



「このライトノベルがすごい! 2026」(宝島社) にて【新作単行本・ノベルズ部門】の第1位を獲得



小説『汝、暗君を愛せよ』刊行情報

- ・ 著/本条謙太郎 イラスト/toi8
- ・ 判型/四六判
- ・ レーベル/DREノベルズ 発行/ドリコム

▼作品紹介はこちら

<https://drecom-media.jp/drenovels/series/nanji>

- ・ 『汝、暗君を愛せよ』は著者・本条謙太郎氏のデビュー作
- ・ DREノベルズの新シリーズ1巻目として過去最高の予約数を記録、発売前重版も決定するほどの注目を集めていた
- ・ 第1巻の刊行からわずか3ヵ月で「このラノ」新作単行本・ノベルズ部門で第1位を獲得
  - ・ 当社が出版事業へ参入してから3年にして初の部門1位受賞



## 財務データ（連結：四半期毎）

### 損益計算書（百万円）

決算期	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025	FY03/2026			通期 会予
					Q1	Q2	Q3	
売上高	10,528	10,800	9,779	12,655	4,466	3,771	5,062	17,500
前年比	-11%	3%	-9%	29%	110%	99%	21%	38%
売上純利益	3,796	4,558	3,404	3,477	1,281	924	1,846	
前年比	-5%	20%	-25%	2%	105%	177%	44%	
売上純利益率	36.1%	42.2%	34.8%	27.5%	28.7%	24.5%	36.5%	
販売費および一般管理費	2,205	2,276	2,501	3,365	1,363	1,417	1,174	
前年比	13%	3%	10%	35%	97%	143%	18%	
営業利益	1,591	2,281	903	112	-81	-493	671	500
前年比	-22%	43%	-60%	-88%	-	-	133%	346%
営業利益率	15.1%	21.1%	9.2%	0.9%	-1.8%	-13.1%	13.3%	6.1%
経常利益	1,541	2,192	793	53	-107	-509	657	400
前年比	-24%	42%	-64%	-93%	-	-	139%	655%
当期純利益	807	1,159	104	-1,035	-1,799	-563	621	-1,300
前年比	-50%	44%	-91%	-	-	-	-	-
当期純利益率	7.7%	10.7%	1.1%	-8.2%	-40.3%	-14.9%	12.3%	-7.4%

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：会予＝会社予想。百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による

### 一株当たりデータ（連結）

決算期	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025
発行済株式総数(千株)	28,976	29,073	29,130	29,224	29,340
EPS	57.0	28.3	40.7	3.6	-36.1
EPS 調整後	56.9	28.3	40.6	3.6	-36.1
BPS	132.9	159.1	195.7	196.3	162.5
DPS	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による



## キャッシュフロー (百万円)

決算期	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025
減価償却費	627	537	269	145	526
営業活動によるキャッシュフロー	3,196	1,603	2,666	-473	634
投資活動によるキャッシュフロー	-1,140	-1,766	-2,017	-2,048	-899
財務活動によるキャッシュフロー	969	-388	659	2,413	-1,739

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による

## 財務データ (%)

決算期	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025
総資産経常利益率(ROA)	25.2	16.0	20.0	6.0	0.4
自己資本利益率(ROE)	55.0	19.4	22.9	1.9	-20.1
自己資本比率	39.5	46.9	45.6	39.7	34.6

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による





## 免責事項

本レポートは、掲載企業のご依頼により Global IR, Inc.が作成したものです。

本レポートは、情報提供のみを目的としており、当該企業株式への投資勧誘や推奨を意図したものではありません。

本レポートに記載されている情報及び見解は、Global IR, Inc.が信頼できると判断した情報源から得、または公表されたデータに基づいて作成したものです。その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。しかしながら、正確性、客観性を重視した分析を心がけ、最終的な中立性・独立性には最善の注意を払っています。また、当該企業経営者等とのディスカッション、および独自のリサーチに基づき、我々が投資家にとって重要と思われる視点を Global IR, Inc.のオリジナル・オピニオンとして提供しています。Global IR, Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。当該企業株式への最終的投資判断はあくまでも自己の判断・責任でお願いします。